

日本気管食道科学会より

『気管・気管支異物に関する全国疫学調査』について

➤ 研究（調査）の目的と概略

気管・気管支異物は命に関わる緊急性の高い新患です。異物の材質や異物のある場所によっては摘出が難しい、呼吸の状態が悪くなる、などが起こりえます。この研究では、気管・気管支異物に関する全国調査を行うことで、危険性の高い異物や適切な治療方法を明らかにし、ガイドライン作成の礎とすることを目的とします。

➤ 研究（調査）の方法

下記医療施設を対象にアンケート調査を行い、2014年1月1日～2018年12月31日に診療を行った患者様に関して、咽頭・喉頭・気管狭窄症の原因となった疾患、臨床経過などに関する情報を収集します。

➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学認定専門医研修施設および小児専門医療施設、呼吸器内科・呼吸器外科専門医療施設

➤ 調査期間

理事会承認日～2年間

➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。アンケート結果は、個人が特定できないよう匿名化して管理し、個人情報を守ります。

➤ この調査への協力は任意です。

この調査に協力するかどうかは、患者さんの自由な意志で決まります。調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。データのご使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。
研究責任者：楯谷一郎（藤田医科大学病院 耳鼻咽喉科・気管食道科）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F
E-mail : jbes@kishoku.jp